

第6部 2023年度の環境に関する取組みについて

豊岡市環境審議会の意見 (今後の取組みに向けて)

■環境審議会の意見

本報告書第2部から第5部までの内容に対し、第2次環境基本計画の「目標とする姿」の体系に合わせ、環境審議会からの意見や要望をまとめています。発行時期の都合上、本意見は2年後の施策に反映されます。

取組みを期待する主体を「市」「市民」「事業者」で分け、記号を付けています。また、市については、主な関係課を載せています。

記号：市 市民 事業者

新規意見については記号を付けています。

記号：新規

※一部 2024 年度の情勢を受けてまとめたものを含みます。

(1) 「目標とする姿」ごとの取組みについて

目標像①手入れの行き届いた豊かな森が、きれいな空気や水を育んでいます

新規

適切な森林の管理が獣害対策などにもつながるため、間伐などの管理方法を工夫しながら、森林との共生について引き続き知見を広めてください。

市 事業者

【主な関係課】

農林水産課

新規

分収造林問題については、防災の面等からも管理が継続されることが求められるため、管理が放棄され森林が荒廃しないように今後の動向を注視し、必要に応じ対応策を検討してください。

【分収造林問題】

分収造林事業とは『民有の山林を借り受けて植林し、伐採後に土地所有者と収益を分け合う』というものです。

しかし、兵庫県の外郭団体「ひょうご農林機構」による分収造林事業は、材木価格の低迷により事業が成り立たなくなり、事業の解約や森林管理の移行など、様々な問題を抱えています。

市 市民 事業者

針葉樹と広葉樹が混在する針広混交林を整備することは、生物多様性の向上のほか、防災効果が期待できます。

将来的に間伐等の作業も減少し、省力的に整備ができる環境保全型の森林を整備していくことが求められます。

市 事業者

農林水産課

コウノトリ共生課

木質バイオマス利用を推奨して民間の林業ビジネスに付加価値を生む取組みを進めてください。また、長期的な視点で林業従事者の減少による人手不足を補う方法として、自伐型林業といった新たな様態での担い手確保が求められます。

市 事業者

農林水産課

環境経済課

放棄竹林等の増加により、森林が荒廃しています。市民が竹林問題を知り、森林整備や竹の利活用を考える機会（ワークショップなど）をより一層進めてください。

市 市民 事業者

農林水産課

目標像②里山が様々な利用され、関わる人が増えています

新規

バッファゾーン整備による獣害対策の効果について周知を行い、有害獣の駆除だけではなく、人と動物の住み分けによる共生という選択肢についても知見を広めてください。

市 市民

新規

里山に触れることのできる機会を作り、興味や関心をより多くの方に持ってもらえるような活動を行ってください。

市 市民

有害鳥獣により家庭菜園が被害にあうと、耕作をやめてしまう人もいます。耕作放棄地増加防止の観点からも、家庭でできる有害鳥獣対策の研究や普及が求められます。また、人里近くに野生動物が増えていることから、寄生するマダニやヤマビルによる二次被害もあるため、対策の周知を継続してください。

市 市民 事業者

有害鳥獣駆除後の適切な処理が困難な課題となっています。駆除後の処理や加工利用をおこなう施設の整備への支援が求められます。あわせて、事業者による肉や皮の活用（食肉、ペットフードなど）、学校給食への提供や市民ヘジビエ料理を普及する機会の創出など、有効活用に向けた具体的な研究をすすめてください。

市 市民 事業者

【主な関係課】

農林水産課

農林水産課
社会教育課
コウノトリ共生課

農林水産課
健康増進課

農林水産課
環境経済課
教育総務課

目標像③使われていない農地の利用が進み、生きものの豊かな田んぼが増えています

新規

学校給食での地場産野菜の利用目標は5年連続で達成されていることから、さらに目標値の引上げを検討してください。

地場産物への理解を深め、消費者へ地産地消の意識啓発と利用促進を行ってください。

市 市民 事業者

関係機関との連携による耕作放棄地対策をより一層進めるとともに、短期間だけ耕作を引き受けてくれる事業者との連携や、兼業農家への支援拡充、耕作放棄地の再開拓への支援等、新たな取組みが求められます。

市 市民 事業者

【主な関係課】

農林水産課
教育総務課

農業委員会
農林水産課

目標像④あちこちの川や海辺で、子どもたちの楽しむ声がきこえてきます

新規

川の漁業について、組合の活動も含めて、川の恵み・豊かな自然など、地元農産物同様にPRしてください。

海の水産資源保全についても、資源保全を目的とした漁礁設置が再び行われるようになった事など、市民に周知してください。

市 事業者

近年慣行水田を中心に使用されているプラスチックの殻で被覆された肥料（一発肥料）が水系へ流出し、マイクロプラスチックの発生に繋がっています。

そうした肥料を使用しないという面からも、コウノトリ育む農法へのさらなる誘導が望まれます。

市 市民 事業者

海岸や河川の清掃活動が継続的に行われるよう、さらなる普及啓発に期待します。漂着ごみは、河川上流部、近隣自治体、海外からも流れ着いています。

また、啓発範囲を広げ、市民の他にもブルーーツーリズムにボランティア（ビーチ清掃等）を組み込むなど、市外の人たちにも関心を持って清掃活動等に関われるような取組みが求められます。

市 市民 事業者

【主な関係課】

農林水産課

農林水産課
コウノトリ共生課
生活環境課

生活環境課
観光政策課

目標像⑤コウノトリも住める豊かな生態系が、バランス良く保たれています

新規

小さな自然再生活動支援助成事業の件数がコロナ禍前に戻るよう、助成金の告知や幅広い活動報告、きめ細かいサポートを含め、工夫を期待します。また、重要な取組みであり、成果も得られているので、補助額の増額も検討して下さい。

【小さな自然再生活動支援助成】

自然や生きもののための「小さな自然再生」に取り組む市民の活動を支援する市の補助制度。

市 市民 事業者

コウノトリは現在、全国的に増加しています。これまでの野生復帰の取組みが挙げた成果を市民全員で再確認する一方、少数を保護し共生していくという観点から、次なる共生のステップに移るイメージの共有が求められます。

市 市民 事業者

外来種問題について市民に正しく情報発信し、戦略的な対策を進めてください。また市が管理する施設等では積極的な外来種の駆除を求めます。

市 市民

【主な関係課】

コウノトリ共生課

コウノトリ共生課

コウノトリ共生課
農林水産課
都市整備課
建設課
各振興局地域振興課

自然生態系について、紙面やデジタルでの情報共有は大事ですが、標本や剥製など実物の確認記録も非常に重要です。

現在、本市には標本等を収蔵保管する専門施設がありませんが、廃校を活用した施設整備をするなどし、後世にこれまでの豊岡の自然史を引き継いでいくことが求められます。

市 市民

コウノトリ共生課
文化・スポーツ振興課
財政課

目標像⑥様々な世代の人々が、地域の祭りや行事を楽しみ、未来へとつなげています

新規

地域の繋がりや伝統文化の学習は重要であり、コミュニティ城崎では「城崎の歳時記 内川編」を刊行して地元の行事や伝統を見直すきっかけとなり成果も得られています。このような取組みを次の世代に繋いでください。

住民がうまく伝統文化を継承している事例も捉えながら、中止するだけでなく、どのようにすれば継続できるか考えながら伝統文化を守ってください。

市 市民 事業者

市内外の様々な人々が地域の伝統行事や文化を知り、交流を深める機会を持つことで、伝統を守りながら、新しい伝統が作られていくことを期待します。

市 市民 事業者

【主な関係課】

学校教育課
社会教育課
文化・スポーツ振興課

文化・スポーツ振興課
地域づくり課
観光政策課
社会教育課
各振興局地域振興課

目標像⑦子どもたちが、身近な地域の自然についてよく知り、大切にしています

新規

子どもの年齢に合わせてながら身近な地域の自然について知ることのできる多様な機会を創出してください。

「出張！田んぼの学校」など生きもの調査は、地域の自然を知る絶好の機会です。さまざまな団体でさらに定着することを期待します。

【出張！田んぼの学校】

地域の子ども会（育成会）やPTA、農会などが行う自然体験学習を支援するため、NPO 法人コウノトリ市民研究所と市が行う事業。地域に講師が赴いて、子どもたちと生きもの調査をします。

市 市民

豊岡出身の子どもたちがメッセンジャーとして豊岡の良さを発信できる風土を作っていくことで、活動の評価も高まり、関心の薄い子どもたちにも興味を持ってもらいやすくなります。市の内外向けを問わず、豊岡の良さを情報発信する際の協力や機会の創出等の支援が行われることを期待します。

市 市民 事業者

【主な関係課】

コウノトリ共生課

コウノトリ共生課
秘書広報課
学校教育課

目標像⑧市民みんなが、ごみの減量化を实践し、1人あたりの排出量が徐々に減っています

新規

さらなる「ゼロ・ウェイスト」へ向けて、どのような対策（現在「可燃」とされているプラスチック製品の分別を変更して「資源」とする等）が可能なのか検討してください。

【ゼロ・ウェイスト】

ゴミを出さないようにする取組み。

市 市民 事業者

給水スポットの設置について使用状況や利用者の感想等の調査をし、情報発信を行うことで、公共施設だけでなく、事業所等への給水スポットの設置が進み、マイボトルの普及が進むことを期待します。

市 市民 事業者

「豊岡市プラスチックごみ削減対策実行計画」の対策状況の進捗と市の削減行動についての周知も引き続き進めてください。

また、プラスチック削減の規範となる取組みを市民や事業者へ促す支援や体制作りが求められます。

市 市民 事業者

【主な関係課】

生活環境課

コウノトリ共生課
学校教育課

コウノトリ共生課
生活環境課

目標像⑨市民みんなが、楽しみながら省エネ行動を实践し、再生可能エネルギーの利用も増えています

新規

省エネ機器の導入や断熱技術の導入など、省エネ行動を各自行いつつ、様々な機会を利用して、省エネ行動に対する知見を広めてください。

また、豊岡市地球温暖化対策実行計画を推進して、脱炭素の目標を実現してください。

市 市民 事業者

高齢化が進む地域などでの相乗りタクシー、ノーマイカーデー、公共交通機関の利用推進などは、交通弱者の減少、交通インフラの維持などを目的とした市の施策であるとともに、CO₂削減につながります。市や事業者による支援、コミュニティでのイベント利用等でさらなる周知と利用者の増加に努めてください。

市 市民 事業者

再生可能エネルギーの導入については、山林を切り開いてのメガソーラーの導入など環境破壊を伴うものではなく、既存の建造物を利用した太陽光発電等の環境負荷や景観へ配慮した再エネ導入が推進されることを求めます。

市 市民 事業者

【主な関係課】

コウノトリ共生課

コウノトリ共生課
都市整備課
地域づくり課
各振興局地域振興課

コウノトリ共生課

目標像⑩環境をよくすることで経済が活性化され、交流も広がっています

新規

市内を訪れた観光客へ、また市外でのイベント等で、環境経済戦略に関してより積極的な PR を工夫してください。
サステナブルツーリズムの更なる推進を図ってください。

【サステナブルツーリズム】

訪問客、産業、環境、受け入れ地域の需要に適合しつつ、現在と未来の環境、社会文化、敬愛への影響に十分配慮した観光。

市 事業者

新規

農産物・加工食品だけでなく、幅広い分野で、環境経済認定事業が継続していける努力・工夫をさらに期待します。
環境経済認定事業者が発表する場を設けるなど、更なる周知も図ってください。

市 市民 事業者

新規

クマやシカなどの獣害が、自然環境だけでなく、生活環境や経済活動にも影響を与えています。
多様な生き物と共生しながら日常生活や産業を守るための研究や対策を始めることが必要です。
そのために、幅広い知識や情報を集めて、実践する努力をしていくことを期待します。

市 事業者

湿地整備等で受け入れている市外からのボランティアツアーを、豊岡演劇祭等のイベントでも受け入れを行う事で、豊岡の取組みをさらに深く知ってもらい、交流が深まることを期待します。

市 市民

環境経済認定事業に認定されるメリットとして、共同プロモーションの機会の創出や環境イベントへの出店等の後押しといった支援に取り組むことを期待します。

市 事業者

【主な関係課】

コウノトリ共生課
観光政策課
環境経済課

環境経済課

農林水産課
観光政策課
環境経済課

観光政策課

環境経済課

(2) まとめ

第 2 次豊岡市環境基本計画の推進 7 年目にあたる 2023 年度の取組みについての評価は、「よくがんばりました」が 1 項目（目標像⑧）、「この調子でがんばろう」が 9 項目（目標像①②③④⑤⑥⑦⑨⑩）という結果になりました。「もっとがんばろう」に該当する目標像はありませんでした。このことは、昨年度と同じです。豊岡市のさまざまな環境に対する市民・事業者・市役所の取組みが着実に進展し、その成果があらわれているといえるでしょう。

目標像⑧が「よくがんばりました」評価となったのは、市民が参加する清掃・美化活動の参加人数が増加したこと、「生ごみ処理機購入事業補助金」の交付実績も増えたことなどが、その理由です。環境審議会としては、このような動きが持続し、さらに「ゼロ・ウェイスト（ごみを出さないようにする取組み）」へ向かうために、プラスチック製品の分別を現行の「可燃」から「資源」へ変更するなどの対策の検討を提案しています。

この提案をはじめとして目標像①～⑩に対する環境審議会からの要望や意見は、環境報告書の第 6 部に掲載されています。今回、環境審議会は新たに 14 の提案をしました。どの提案も取り組むべき重要な課題ばかりですが、とりわけ目標像⑩に対する新規提案—観光などの経済活動にクマやシカによる獣害が影響を与えていることへの対策—については、早急に着手することが必要だと考えています。

環境審議会のなかに新しく設置された「生物多様性推進部会」は、「豊岡市生物多様性地域戦略」の短期戦略Ⅲ（2023～2027 年度）の取組みの進捗状況の把握と評価、今後の取組み方針の提言などを行っています。環境審議会では生物多様性推進部会からの報告を、環境報告書における目標像の評価とそれに基づく問題提起や提案作成に活かしていきます。

2025年3月

豊岡市環境審議会 会 長 山室 敦嗣

副会長 西垣由佳子

委 員 青柳 順子、安藤有公子、飯田勇太郎

川見絵里香、木築 基弘、黒田 和真

島崎 卓也、田原 美穂、野世 英子

増原 直樹、水嶋 弘三、村田美津子

山下 正明

【お願い】

豊岡市環境報告書は、毎年公表するものです。

次年度以降より充実した報告書になるよう、皆様のご意見・ご感想や、ご提案・取組み事例の情報などをお寄せください。

豊岡市コウノトリ共生部コウノトリ共生課

住 所：〒668-8666 豊岡市中央町2番4号

電 話 番 号：21-9017(直)

FAX 番 号：24-7801

E - m a i l: kounotorikyousei@city.toyooka.lg.jp

H P 検 索: